

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価担当課	課名
市民課	

コード	VII-21-50	施策名	防犯・見守り体制の充実	
まちづくりの目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える
5年後のめざす姿	市民が自らを守る防犯意識を向上する取り組みや地域ぐるみでできる防犯活動の充実を図ります。市民一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という防犯に対する意識を高めるとともに、地域における犯罪や交通事故だけでなく、特殊詐欺などの巧妙化かつ複雑化する新たな犯罪から市民を守れる体制の構築をめざします。			
施策の課題	市民の生命財産を守るためには、防犯意識の向上に向けた個人での取組に加え、地域単位での取組が定着することが重要となる。また、継続的な研修会や講座などを通じて、防犯に対する知識習得や情報共有を図ることで、特殊詐欺等を未然に防ぐための取組を進める必要がある。			

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	自主防犯パトロール隊結成地域数(小学校区)	臼杵津久見警察署調べ	目標	%	/	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	%		100.0	100.0	100.0	100.0	
			達成率	%	/	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	市民1,000人あたり刑法犯発生件数	臼杵津久見警察署調べ	目標	件	/	2	2	2	2	2
			実績	件	2	2	1	1	2	
			達成率	%	/	125.0%	152.7%	147.1%	100.0%	
	高齢者等に対する特殊詐欺防止のための講話の開催数	特殊詐欺防止のための講話を行う高齢者集会等の回数(年間)	目標	回	/	20	20	20	35	40
			実績	回	30	22	11	32	42	
			達成率	%	/	110.0%	55.0%	160.0%	120.0%	
	特殊詐欺(振り込め詐欺等)の認知件数	市内で警察が把握している特殊詐欺の件数(年間)	目標	件	/	2	2	2	2	2
			実績	件	2	2	8	5	11	
			達成率	%	/	100.0%	25.0%	40.0%	18.2%	
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
			目標		/					
			実績							
			達成率	%	/					
指標の進捗状況	順調	指標の分析	全小学校区の「自主防犯パトロール隊」が、地域ごとの防犯活動を実施している。また、新たに幹線道路沿いに防犯カメラを設置することにより、粗暴犯や窃盗犯を抑制し通行者の安全確保につなげている。1000人あたりの刑法犯認知件数も、継続して低い。特殊詐欺等被害防止のために、市報やケーブルテレビなどを活用するとともに、「出前講座」を積極的に活用し犯罪の防止及び抑止を図っている。							
		指標達成に向け今後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール隊や地域の防犯活動に必要な備品の供給を充実させ、活動を積極的に支援する。 ・警察及び県防犯協会連合会等との連携強化を図り、被害抑止・防止に努める。 ・区長・民生児童委員に、地域内での声掛けや見守りなど防犯体制の継続を依頼する。 							

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.60	2.05	2.30
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	2.30
		87.41%	2.10
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	防犯対策事業	防犯カメラ(JR白杵駅前)維持費(電気代等)	市民課	8	9	無	-	-	-	
2	防犯協会連合会等と連携した防犯機器の設置事務	防犯協会連合会等が設置費用を支援し防犯カメラ等を設置	市民課		150	無	-	-	-	
3	街路灯設置事業	街路灯新設・修繕工事費	市民課	2,809	2,000	無	-	-	-	
4	特殊詐欺等被害防止対策推進事業	迷惑電話防止機能付き電話等の購入補助(対象65歳以上を含む世帯)	市民課	501	774	無	-	-	-	
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				3,318	2,933	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

特殊詐欺被害防止のために県内事例など具体的な出来事の情報積極的に発信することで継続的に注意喚起する。年齢層に応じた情報発信や研修会を実施する。(特に高齢者や18歳未満の市民を対象としたもの)
市民の見守り活動や登下校時の声掛けの継続、夜間での事件・事故を防ぐための街路灯の整備を継続して行う。
防犯機器について地域と協力しながら設置場所の検討を行う。迷惑電話防止機能付き電話の設置を促進するため購入補助の周知を積極的に図る。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る
○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> ...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	特殊詐欺被害防止に向けた情報共有の方法として、インターネット、LINE、CATVなどの媒体を利用するとともに、チラシや市報など紙媒体でも情報共有を行う。集会等での講話において、対象者や時宜に応じた事例を紹介することにより、防犯意識の向上を図る。地域、警察と連携して、防犯機器(防犯カメラ)の設置を推進していく。特殊詐欺等の被害を防止するため迷惑電話防止機能付き電話機の普及に向けた周知広報に努め、関係団体にも協力を依頼する。